

中井だより

中井やまゆり園

ごあいさつ

副園長 鈴木 千秋

4月から副園長に就任しました鈴木と申します。今年度は、副園長が2名配置され、管理部門と支援部門に分かれて対応する体制となり、私は支援部門を担当させていただきます。

神奈川県福祉職として採用され、他の障害者支援施設での勤務経験はありますが、中井やまゆり園は初めての勤務となります。利用者の方々と一緒に様々な活動ができることを楽しみにしつつ、「県立中井やまゆり園当事者目線の支援アクションプラン」に基づき、取組みを進めている中、園に配属された重責を感じながら迎えた4月1日でしたが、利用者皆さんの素敵な笑顔や温かい表情に安心させていただきました。そうした中、あっという間に1か月半が過ぎてしまいましたが、利用者お一人おひとりの人生を豊かなものとするため、改めて、気を引き締め直し、精一杯取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

園では、アクションプランを着実に進めていくため、今年度、「当事者の声を園の運営に反映させる」「利用者及び職員の信頼関係に基づく支援を行う」「利用者と職員が自分と自分の人生を見つめあう支援を行う」ことを重点事項に掲げ、取り組んでいきます。そのためにも、利用者の方々としっかりと知ること、そして、これまでの人生を理解することがとても重要であると考えています。

私自身も時間があるときには、積極的に各寮や日中活動をしている部屋に伺って、利用者の方々に声をかけたり、一緒に活動したりしています。中には、他の施設で一緒だった利用者の方もいて、その当時の思い出について話したりもします。

言葉はなくても様々な表情や行動から、どのように思われたのかなど、お一人おひとりの気持ちを感じ、汲み取ることが大切であると実感しています。利用者ご本人の好きなことや嫌いなこと、取り組んでいる活動やそのときの様子、外出や地域での活動の様子などを知るたびに、その方を知る喜びがあり、いろいろな経験や体験をすることで新たな一面が見られたり、利用者ご本人の力や可能性が感じられると嬉しくなりますし、「もっといろいろなことがしたい。もっと頑張れ。」と叱咤激励されているようにも感じています。

利用者のいのちを守り、望む暮らしの実現に向けて、利用者の皆様、ご家族や後見人の皆様、関係機関や地域の皆様、職員と一緒に実践していきたく思います。引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。